

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2017-12-01

APM news 182

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

日本ブックデザイン賞2017

作品展示および授賞式

展示期間: 10月8日(日)~28日(土)
授賞式: 10月14日(土) pm2:30~pm5:00/参加者: 110名



今年も「日本ブックデザイン賞 (JBD) 2017」を開催した。応募総数552点 (一般の部: 139点、学生の部: 413点) の内、厳選なる審査の結果決定した入賞・入選作品全252点を秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) に於いて展示した。今年はAPMの通常開館と同様に事前の予約制とし、作品展示会場もAPM・本館と蔵の2施設を使用し、ガイド付で案内する形をとった。展示期間中の10月14日 (土) には、授賞式も執り行った。毎年、進化を続けるJBDだが、今年は応募部門に「装画部門」を新設し、更に内容の濃いものとなった。

授賞式には、今年も全国から多くの受賞者、入選者、来賓にご列席いただいた。まずAPM館長・審査委員長の秋山孝が挨拶をした。今年で3回目の開催となるが、長岡という地方都市での開催にも関わらず、500点を超える応募作品が全国に留まらず海外からも集まることに驚愕していると共に、長岡が魅力的なまちであることを実感したと語った。続く審査員およびAPM運営委員会会長・豊口協氏の挨拶では、「本屋にはそれぞれの国の文化が反映している」という持論から始まり、JBDから世界へ新たな文化の発信を期待する言葉が述べられた。また、長岡市副市長・水澤千秋氏と協賛の北越紀州製紙株式会社長岡工場長・谷口喜三雄氏から祝辞を賜った。谷口氏の挨拶の最後には3回に渡る協賛へ感謝し、秋山館長より感謝状を贈呈した。

賞状授与では、受賞者それぞれから喜びの言葉を頂戴した。一般の部 ブックジャケット・四六判 金の本賞の作品でグラウンプリを受賞した上清涼太氏は、「今度はブックデザイン・パブリッシング部門 (既に商業出版している本の部門) に応募できるよう頑張りたい。」と自身の更なる発展と再びの応募への意気込みを語った。

式典に続く懇親会ではまず入選者の賞状授与を行い、その後出席いただいた3名の審査員の方から、受賞者への賛辞と応募作品全体のレベルアップを期待する激励の言葉が語られた。列席者同士の歓談に花が咲き、和気藹々とした楽しい雰囲気の中、JBD2017授賞式が幕を閉じた。

秋山館長は3回のJBDを通して、皆が本の持つ魅力と価値を認識していることがわかったという。応募作品1点1点に費やされた時間とエネルギーを集めると膨大な量のパワーとなる。それは、JBDの更なる発展の後押しとなるはずである。(たかだみつみ・APM事務局長、学芸員)